

# 日銀グランプリ ～キャンパスからの提言 2006～

日銀グランプリは、日本銀行が主催する、学生の皆さんを対象とした金融経済分野の小論文・プレゼンテーションのコンテストです。今回が初めての開催です。ふるってご応募ください！

## 応募要領

### ■応募資格

現在、大学（短大を含む）および専修学校専門課程などに在籍の方。3人1組のグループでご応募ください。

### ■テーマ

「突破口を探せ！ 私たちが考える日本の“金融力”向上作戦」

- ①現状評価……自分たちにとって「金融とはそもそも何か」という点を改めて振り返り、その上で、現在の日本における金融機能の発揮状況（これを“金融力”と名付けます）を評価してください。そして、皆さんの眼からみて「今、不足しているもの、求められているもの、求めたいもの」を訴えてください。
- ②“突破口”……こうした現状評価を踏まえて、日本の“金融力”向上に繋がるような具体的でオリジナリティーと実現可能性のある対応策を提案してください。民間部門、公的部門いずれからのアプローチでも構いません。

### ■応募規定

- ・予選（書類審査）……上記のテーマで題名をつけ、日本語でA4（タテ置き、横書き）×5枚以内（1枚につき35字×35字）の小論文としてまとめてください。応募に際しては、専用の応募用紙（下記参照）の添付が必要となります。  
※応募は未発表のものに限ります。他者の著作を引用するときは、その旨明記してください。注釈、図表、参考文献などは枚数に含みません。
- ・厳正な審査を経て、決勝進出チーム（5チーム程度）が選ばれます。決勝進出チームには、2006年1月末までに代表者宛てにその旨を連絡します。
- ・決勝戦……2006年3月上旬にプレス公開で開催します。日本銀行本店（東京）にて論文要旨のプレゼンテーション（15分程度）と審査員との質疑応答（10分程度）を予定しています。日程などの詳細は、決定次第、下記ホームページで公表します。

### ■審査方法

- 【書類審査】現状の認識・分析が的確であるか、着眼点や提言に独創性や現状打開の突破力があるか、論旨および提言が全体として論理的で説得力があるか、といった点に着目して、決勝進出チームを厳正に選定します。
- 【決勝審査】書類審査のポイントに加え、プレゼンテーション力および質疑に対する応答の内容が審査の対象になります。

### ■審査員

日本銀行政策委員会メンバーなど（審査員長は岩田副総裁を予定）。

### ■賞

最優秀賞／1チーム（楯、図書券15万円）  
優秀賞／2チーム（図書券3万円）

### ■応募の締切

2005年12月26日（月）※当日消印有効

### ■応募先

日本銀行情報サービス局 総務企画担当「日銀グランプリ」係  
【郵送】〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1  
【E-mail】post.prd3@boj.or.jp

### ■応募用紙

専用の応募用紙を日本銀行ホームページ（<http://www.boj.or.jp/>）から入手の上、小論文に添付して提出してください。  
※応募者の個人情報、日銀グランプリ関係の連絡、確認、発表以外の用途には使用しません。

### ■問合せ先

日本銀行情報サービス局 総務企画担当「日銀グランプリ」係  
【Tel】03-3277-1453（土・日・祝日を除く10時～17時） 【Fax】03-5203-8703  
【E-mail】post.prd3@boj.or.jp

### ■注意事項

- ・入賞論文は日本銀行のホームページ、日本銀行調査季報などに掲載することがあります。
- ・提出論文の著作権は主催者（日本銀行）に帰属します。
- ・二重投稿はご遠慮ください。
- ・提出物は返却いたしません。
- ・応募規定の内容を満たさない論文は選外とします。
- ・選考過程についてのお問い合わせには応じかねます。